

授業科目名	現代法哲学 Philosophy of Law
授業科目群	基礎法学・隣接科目
標準学年	1・2・3年次
必修・選択の区別	選択
開講学期	後期(隔年開講)
開講曜日・時限	木曜日・1時限
単位数	2単位
担当教員名	酒匂一郎 (Sako Ichiro)
授業の目的	「法とは何か」という根本問題は古くから様々に議論されてきた。それは現代においても変わらない。実定法額においても法実務においてもこの問題は陰に陽にたえず問われていると いってよい。この授業は、この根本問題について、現代の議論を学びつつ、自ら問い考える場 を提供するものである。
履修条件	とくになし。
到達目標	カリキュラムマップ、到達目標科目対応表及び学修ロードマップを参照のこと。
授業の概要	上記の根本問題を問う法哲学の問題群は大きく三つに分けられる。法の概念をめぐる問題 群、法的思考又は法解釈方法をめぐる問題群、そして法的価値とくに正義をめぐる問題群で ある。この授業ではこれらの問題群に関する現代の議論を概観し検討する。 Lecture on Contemporary Philosophy of Law
授業計画	第1回 現代法哲学の概要 第2回 経験的法実証主義 第3回 分析的法実証主義 第4回 自然法論と法理念主義 第5回 最近の法概念論 第6回 法的思考概論 第7回 基礎的法解釈方法 第8回 発展的法解釈方法 第9回 現実対応の法思考 第10回 反制定法的解釈と違憲審査 第11回 現代正義論概要 第12回 功利と権利 第13回 自由と平等 第14回 正義と文化 第15回 政治と正義
授業の進め方	基本的に講義形式で行う。
教科書及び参考図 書等	とくに指定せず、参考図書を講義の中で指示する。
試験・成績評価等	授業へ出席及び授業中の発言・態度・質疑応答等50%、レポート等50%で評価する。
事前学習	とくに指定しない。
課題レポート等	事前のものとしては特になし。
オフィスアワー	授業終了後のほか、メールで質問等を受け付ける。

その他	
-----	--